

入場無料

獨協からSDGsを広げよう!

ゼミ生は何を考え、どう行動しているのか



経済学部高安健一ゼミと外国語
学部ドイツ語学科大重光太郎ゼ
ミによる研究発表およびトーク
セッション

2026 8 / 1 土

時間 12:45 ~ 14:15

場所 西棟2階201教室

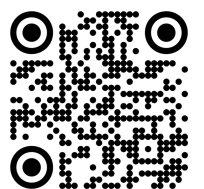
[W-201]



指導教員
獨協大学経済学部教授
高安 健一



指導教員
獨協大学外国語学部ドイツ語学科教授
大重 光太郎



未来のためにできること



SDGs（持続可能な開発目標）が2015年に発表されて11年が経ち、目標の2030年まで5年を切りました。一時期の「流行」が沈静化した今、大学としてどう取り組めるのか、ドイツから学べることはあるのか、獨協大学からSDGsをどのように発信し広げているかなど、この機会SDGsをあらためて捉え直します。

第1部：学生によるゼミでの研究内容の発表

第2部：ゼミ学生と指導教員によるトークセッション

トーク：高安健一 & 経済学部高安健一ゼミ

大重光太郎 & 外国語学部大重光太郎ゼミ

経済学部高安健一ゼミ

開発経済学（SDGs時代の理論と社会実装）。地域連携型PBL(プロジェクト型課題解決学習)を多数展開。

指導教員：高安健一

民間シンクタンク3社での勤務を経て、2009年4月に獨協大学に着任。埼玉県環境審議会委員、獨協大学SDGs推進委員会委員。担当科目は世界を豊にする方法を探る開発経済学。国際関係論博士。

外国語学部大重光太郎ゼミ

ゼミのテーマは「SDGsードイツのローカルな取り組みから何を学べるか？」。

学生の問題関心をもとに、毎年プロジェクトチームを作り取り組んでいる。

今年は農業活性化、街づくり、フェアトレード、ジェンダーの4チームで進めている。

指導教員：大重光太郎

専門は労働社会学、主にドイツの労使関係、労働政策を研究。全学総合講座「人権と福祉について考える」「グローバル化と世界の労働」コーディネータ。